

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
【総務関係】		9事業				
1	総務課	コンビニ証明発行システム構築事業	28,369	14,000	住民票等の証明書をコンビニエンスストアにて発行するシステムの導入を行いました。	証明書の発行のため来庁する必要がなく、また発行時間も6:30~23:00まで拡充し、市民サービス向上に繋がりました。さらに、マイナンバーカードの利活用にもなりました。
2	総務課	行政IT化推進に向けた対応支援事業	5,610	5,600	行政IT化の推進に向けた地盤を形成することを目的として、各種行政手続や個人情報取扱業務の棚卸し、個人情報取扱業務台帳の整備、各種例規改正の支援等について支援を受けました。	業務棚卸しによるデジタル化に向けた行政手続の洗い出し(1004手続)、個人情報取扱業務台帳システムの構築(664業務)、例規の一括見直し(450件)等を行うことができました。
3	総務課	テレビ会議用ミーティングボード購入事業	3,545	3,500	カメラ、モニター、スピーカー、マイク一体型のWeb会議ツールを購入することで、容易に各種会議をWeb会議で実施できるようになります。また、Web会議を活用することで、3密回避と人との接触回数を減らすことを目的とし導入するものです。	臼杵庁舎に2台、野津庁舎に1台設置しました。集計を取り始めた2021年10月から2022年5月までの7か月で137回の使用実績があり、テレビ会議の普及に貢献できました。
4	総務課	コロナ対策に伴うテレワーク環境構築事業	7,539	7,400	職場内での感染拡大防止のため、多様な働き方を実現させることを目的とした、テレワークができる環境の構築と拡大を行いました。	全職員を対象にLGWAN接続系のテレワークシステムの運用を開始し、令和3年度は延べ226回、410日以上の実績がありました。テレワークの普及により、職場に出る職員数の削減に貢献できました。
5	総務課	ケーブルテレビ再構築事業(オンライン授業整備事業・無線システム普及支援事業費等補助金)	147,758	98,200	学校の休校等に伴うオンライン授業等、また、事業所の封鎖等に伴うテレワークやテレビ会議等の対応をするため超高速ブロードバンド対応の光化を行いました。	超高速ブロードバンド対応の光化工事を行い、臼杵市内全域の光化が完了しました。
6	財務経営課	公共施設における感染拡大防止対策事業	16,818	16,500	感染防止対策に必要な間仕切り、除菌液、サーキュレーターなどの購入を行いました。	庁舎をはじめとする公共施設において感染対策が図られました。
7	秘書・総合政策課	路線バス運行継続緊急支援事業	6,500	6,500	収入が大きく減少した路線バス事業者に対する支援事業(佐臼ライナー、臼三線、その他民間路線)を行いました。	高校生が通学用に利用する臼三線など、市内を運行する主要な路線を継続することができました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
8	秘書・総合政策課	地域公共交通事業者支援事業費補助金	8,578	8,500	事業売上げが大幅に減少している、市内に3社ある交通事業者に対し、車両維持経費の支援を行う事業です。また、市内高校に通う生徒が利用する通学バスの密を避けるため、バスの増便を行いました。	バス、タクシーの運行継続を支援することにより、市民の日常的な移動手段を確保することができました。密集状態を防ぐことによって、感染を防止し、安心して利用していただきました。 運行期間:R3.8.27~R3.9.30 R4.1.19~R4.3.24 運行便数:62便 利用者数:671人
9	防災危機管理課	新型コロナウイルス感染症対応備蓄対策事業	20,103	9,000	新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下で災害が発生し避難所を開設する場合を想定した、衛生対策を徹底するための備蓄用品を購入し感染機会の削減を図るものです。	30年以内に70~80%の確率で発生すると想定される南海トラフ巨大地震や風水害に備え新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた避難所運営に必要な資機材の整備が図られました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
【福祉保健関係】			9事業			
1	保険健康課	感染症拡大防止対策事業	1,426	1,106	感染拡大の防止対策として、公共施設や社会生活維持のために必要な施設等に対し、衛生用品等の必要物品の提供を行いました。	各施設に対して、非接触式体温計、アルコール噴霧器を設置するとともに、手指消毒液や消毒用アルコール等を配布し、日頃からの感染拡大防止対策が図られました。
2	保険健康課	Web会議導入支援事業	1,038	1,038	市内の診療所、病院、歯科医院、調剤薬局、介護事業所等において、「うすき石仏ねっと」を活用したWeb会議システムの整備を行いました。	オンラインによるカンファレンス等の体制整備を促進し、医療従事者、介護従事者等の人と接触する機会を減らし、新型コロナウイルスの感染拡大防止が図られました。
3	子ども子育て課	高齢者インフルエンザ予防接種助成事業	5,487	1,794	新型コロナウイルス感染症拡大の中、インフルエンザとの同時流行を防ぐため、特に重症化リスクの高い65歳以上の高齢者に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部として、一人あたり500円の助成を行いました。	新型コロナウイルス感染症拡大の中、インフルエンザとの同時流行を防ぐため、特に重症化リスクの高い高齢者に対し、インフルエンザ予防接種の助成を行いました。全国的にも令和3年度はインフルエンザの感染者は少なく、臼杵市では感染者の報告はありませんでした。 助成実績:9,101人
4	子ども子育て課	子ども・子育て支援交付金(放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業を除く)	5,372	272	地域子ども・子育て支援事業において、感染症に対する体制を強化し、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、職員が感染症対策の徹底を図ることに対する必要な経費のほか、事業所等が配布する子ども用マスク、消毒液等の卸・販社からの一括購入等や事業所等の消毒に必要な経費を補助することで事業所等での集団感染防止に繋がります。	新型コロナウイルス感染症の流行により、常に感染のリスクと向き合いながら事業所等の運営を行っていただいている職員のために手当を支給し、また、備品を購入することにより、免疫力の低い子どもたちが長時間過ごす事業所等での集団感染防止に繋がりました。
5	子ども子育て課	保育対策事業費補助金(保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業に限る)	4,400	2,200	保育所等において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、職員が感染症対策の徹底を図りながら必要な経費のほか、保育所等が配布する子ども用マスク、消毒液等の卸・販社からの一括購入等や保育所等の消毒に必要な経費を補助することで保育所等での集団感染防止に繋がります。	新型コロナウイルス感染症の流行により、常に感染のリスクと向き合いながら保育所等の運営を行っていただいている職員のために手当を支給したり、備品を購入したりすることは必要であり、免疫力の低い園児たちが長時間過ごす保育所等での集団感染防止に繋がりました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
6	子ども子育て課	臼杵市新生児子育て応援特別事業	1,000	500	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のもと、本市の次世代を担う子どもを出産し、育児に取り組む子育て世帯の支援を目的として、令和2年度(繰越)事業として臼杵市新生児子育て応援特別給付金を支給しました。	新型コロナウイルス感染症による影響を受ける中、国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子どもを対象に、子育てに係る生活支援を図ることができました。令和2年度繰越事業として、令和3年度は10名の方に対し、支給しました(対象者R3.3.5生~R3.3.27生の10名×10万円分)
7	子ども子育て課	トイレ手洗い自動水栓化事業(保育園)	553	400	新型コロナウイルス感染防止のため、市内の保育園・認定こども園・放課後児童クラブ等、トイレに併設する専用手洗い場の自動水洗化(非接触型)を促進しました。令和2年度分繰越事業(7施設分)	市内の保育園等において、手洗い時の感染リスクの低減を図ることができました。
8	高齢者支援課	第2弾 後期高齢者外出応援事業	16,199	16,000	後期高齢者(75歳以上)へタクシー又はバス券を支給することで、高齢者の身体的活動の維持を図るとともに、地域公共交通への支援を行いました。 タクシー・バス券 3千円/人	第1弾事業よりも利用期間を延長したことから利用率が向上しました。高齢者の外出機会の支援及び公共交通の支援に繋がりました。 申請率:67.1% 利用率:67.3%
9	高齢者支援課	高齢者通いの場感染症対策支援事業	602	500	高齢者サロンや老人クラブなどの通いの場の活動が安心・安全に実施できるよう、各サロンなどが取り組む感染拡大防止対策の支援として、助成金の給付を行いました。 助成金 10千円/団体	高齢者サロンや老人クラブなどの通いの場において感染拡大防止対策が図られ、安心・安全な活動が実施できたとともに、感染対策への意識づけにも繋がりました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
【産業関係】		10事業				
1	産業促進課	経営継続支援事業補助金	3,930	3,900	新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年7月の売上げが、前年又は前々年同月比で30%以上減少している事業者に対し、補助金を交付しました。補助額は申請者が経営している事業所の区分と件数により決定(賃借事業所:1件につき5万円、自己所有事業所:1件につき3万円)	売上げが減少している対象事業者102件に補助金を交付したことにより、コロナ禍における市内事業者の事業継続が図られました。
2	産業促進課	漁業者事業継続支援事業	3,952	3,700	新型コロナウイルスの影響により収入が令和元年または令和2年同月比で30%以上減少している漁業者を支援するため燃油を補助しました。 軽油:900L×2/3(法人は1,800L)、もしくはガソリン:500L×2/3(法人は1,000L)	売上げが減少している対象漁業者62件に燃油補助を行ったことで、コロナ禍における事業継続に繋がりました。
3	産業促進課	第3弾 地域消費喚起プレミアム商品券発行事業	88,375	88,000	市内企業支援のため、臼杵商工会議所・野津町商工会が発行する第3弾プレミアム商品券(プレミアム率25%、30,000冊)に対し補助金を交付した。 発行総額:3億7,500万円(プレミアム分7,500万円) (臼杵地域:3億3,750万円(プレミアム分6,750万円)、野津地域:3,750万円(プレミアム分750万円))	消費者がプレミアム商品券を利用して市内の店舗で積極的に買物をすることで地域消費が高まり、コロナ禍による影響を受けていた事業者からは資金繰りが楽になったとの声をいただいています。
4	産業促進課	第4弾 地域消費喚起プレミアム商品券発行事業	93,200	33,400	市内企業支援のため、臼杵商工会議所・野津町商工会が発行する第4弾プレミアム商品券(プレミアム率30%、33,000冊)に対し補助金を交付した。 発行総額:4億2,900万円(プレミアム分9,900万円) (臼杵地域:3億7,050万円(プレミアム分8,550万円)、野津地域:5,850万円(プレミアム分1,350万円))	消費者がプレミアム商品券を利用して市内の店舗で積極的に買物をすることで地域消費が高まり、コロナ禍による影響を受けていた事業者からは資金繰りが楽になったとの声をいただいている。
5	産業促進課	新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金利子補給事業	7,786	2,037	大分県の新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金(運転資金・1000万円以下)に係る利子について対象融資を受けた事業者に対し、利子補給金を交付しました。	対象である167件の事業者に利子補給金を交付した。事業者からは、返済の負担が軽くなり融資を受けやすくなったとの声をいただいています。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
6	産業促進課	小売・サービス業等感染予防対策推進事業補助金	4,503	4,500	市民や観光客など不特定多数の方へ商品・サービス等を直接提供する事業所が令和3年4月1日以降、感染予防対策として導入した設備投資等に係る経費に対し、補助金を交付しました。 機械設備:補助率4/5(1事業所上限130,000円) 消耗品:補助率4/5(1事業所上限20,000円)	33件の事業者に対し補助金を交付したことで、市内対象店舗における感染予防対策が図られました。
7	おもてなし観光課	食文化の魅力広がる城下町うすき事業	106,327	71,500	コロナ禍の影響により、本市の観光産業の基盤となる飲食業が大変厳しいなか、観光資源であるふぐ料理の割引事業(ふぐ割)及び臼杵の魅力である食文化を前面にした独自のクーポン事業(美食クーポン)を展開しました。また、観光名所の国宝臼杵石仏の新しい魅力を発信する誘客事業(美仏総選挙)、3密対策やマイクロツーリズムに対応する街なか周遊事業(うすき財宝伝)、修学旅行等を誘致する観光客増進事業(うすき学び旅)を展開し、それらを市内外にプロモーション(美食・観光PR)しました。 【事業費】 ・ふぐ割 45,472千円 ・美食クーポン 41,585千円 ・美仏総選挙 1,444千円 ・うすき財宝伝 3,679千円 ・うすき学び旅 4,214千円 ・美食・観光PR 9,933千円	「ふぐ割」は利用者10,222人のうち、66%が市外の方であり、臼杵ふぐの魅力を発信することができました。即日完売の「美食クーポン」はまん延防止等重点措置による時短営業等もあり、利用期間を4月末まで延長したことで飲食店への支援を図ることができました。「美仏総選挙」は9,057票の投票があり、国宝臼杵石仏に新たな付加価値を付けることができました。「うすき財宝伝」は参加者2,151人のうち94%が県民であり、昨年に引き続きマイクロツーリズムの推進となりました。「うすき学び旅」は県内の小中学校の修学旅行が県内旅行となったことから様々な市民にスポットをあて取材する探求学習に繋げることができました。また、これら事業を各種メディアにて県内外に発信したことで、多くの方に本市の食文化が認知されるとともに、観光施設への誘客、飲食や土産の消費拡大に繋がりました。
8	おもてなし観光課	Visit!食文化のまち臼杵観光資源PR事業	2,965	500	アフターコロナ後に本市に来てもらうため、食文化を中心とする本市の魅力を市内外へ発信しました。	「ふぐ割」や「うすき美食道」等のPR動画を制作、県内及び福岡県でのCM発信及び新聞掲載により、ふぐ料理を中心とする本市の食文化が観光資源として認知されるとともに、宿泊施設や観光施設への誘客、飲食や土産の消費拡大に繋がりました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
9	おもてなし観光課	Visit!食文化のまち臼杵観光振興事業	1,167	1,000	観光交流人口の回復と観光振興を図るため、宿泊業や土産屋、割烹等飲料店への支援を行うものです。本市の観光資源であるふぐ料理の代金を上限5,000円として助成しました(ふぐ割)。本市宿泊者に2,000円分の本市お買物券、観光4施設共通券の購入者に1,000円分の本市お買物券とソフトクリーム無料券を提供しました(お得泊・お得観光)。観光ツアー利用者に観光施設料金及び昼食代として2,000円分の補助を行いました。	「ふぐ割」を10,696人が利用し、市内外の多くの方に本市の食文化が認知されるとともに、消費拡大及び飲食店支援に繋がりました。「お得泊」「お得観光」では、26,860枚分のお買物券を提供することができ、市内周遊と飲食、土産店等での消費拡大に繋がりました。
10	おもてなし観光課	市内周遊型観光イベント実施補助事業	900		県内近隣からの誘客をターゲットに、町なかの周遊促進及び飲食・土産購入等の市内消費喚起を図り、新しい生活スタイルに沿った観光イベント「うすきde宝探し」を開催しました。	一定の期間を設けてリスク回避を図り、安心・安全に開催できました。県内・市内から9,553人(参加者全体の98%)が訪れ、マイクロツーリズムの推進となりました。幅広い年齢層が町なかを周遊し、本市の観光資源が多くの人に認知されるとともに、本市お買物券が多く使用され、市内の飲食、土産店等での消費拡大に繋がりました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
【教育委員会事務局】			3事業			
1	学校教育課	修学旅行等の中止又は延期に伴うキャンセル料補助事業	527	521	中学校の修学旅行を、新型コロナウイルス感染症の感染状況や移動時の配慮等、活動内容の見直しなどを含め変更しましたが、当初の予定を変更したために発生するキャンセル料について保護者の負担軽減を図りました。	全中学校の2年生282名分のキャンセル料を支払ったことにより、年度内に全ての学校が修学旅行を実施することが出来ました。
2	教育総務課	トイレ手洗い自動水栓化事業(学校)	20,855	20,000	小中学校等のトイレ手洗い蛇口を、手動型から非接触型の自動水栓化を行いました。	小中学校トイレ等の手洗いを非接触型の自動水栓化にすることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクの軽減を図ることができました。
3	教育総務課	学校衛生・室内環境対策用品購入事業	12,019	4,458	小中学校において、教室内の換気を促進するための機器及び衛生用品を購入するものです。	小中学校において、換気促進のための機器及び衛生用品を購入したことで、児童生徒の衛生的な就学環境を保持することができました。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(単位:千円)

番号	担当課	事業名	執行額	うち交付金	内容説明	施策の成果
【消防本部】		3事業				
1	消防本部	少量危険物保管庫整備事業	2,618	2,500	新型コロナウイルス感染防止対策として、継続的に必要量の消毒用アルコールを備えるため、少量危険物保管庫を整備しました。	少量危険物保管庫が整備できたことにより、一定量の消毒用アルコールを備蓄することができました。
2	消防本部	救急体制感染予防事業	16,785	16,000	救急隊員の感染予防、感染拡大防止を目的に必要な資器材を備えました。 ・感染症対策備蓄品 ・救急隊員用洗濯乾燥機 など	各種資器材の整備により、救急隊員の感染予防、感染拡大防止ができました。
3	消防本部	救急体制感染予防事業(令和2年度繰越分)	4,475	4,000	救急隊員の感染予防、感染拡大防止を目的に必要な資器材を購入しました。	オゾン発生器の購入により、消毒時間が短縮され、職員の感染リスクの軽減、作業の負担の軽減を図り、車両も早期に次の出場に備えました。各種資器材の整備により、救急隊員の感染予防、感染拡大防止を図ることができました。